

第6回 SAスキルUPミーティング 名古屋 結果報告

2018年10月26日（金） 10:30～17:00

三菱電機株式会社 名古屋製作所

FCC 4F Bホール



セーフティアセッサ協議会

Agenda



【プログラム】 10:30 ~ 17:00 (受付 10:00 ~ 10:30)

- 10:30 ~ 10:35 **ご挨拶、諸連絡**
- 10:35 ~ 11:35 **SA協議会会長から挨拶とビデオ講演 (60分)**
明治大学名誉教授 向殿 政男 氏
「ISO45001 の動向」
- 11:35 ~ 13:00 **休憩 (昼食)**
- 13:00 ~ 13:50 **講演① (50分)**
三菱電機株式会社 熊谷 好高 氏
「e-F@ctory と智能化ロボットが実現する自動化ソリューション」
- 13:50 ~ 14:00 **休憩**
- 14:00 ~ 15:00 **講演② (60分)**
三菱電機株式会社 原口 林太郎 氏
「ロボットの安全について」
- 15:00 ~ 16:50 **グループディスカッション+発表**
- 16:50 ~ 17:00 **情報提供、閉会、片づけ**

【懇親会】 17:30 ~ 19:30 熟成肉バル「オオゾネウッシーナ」

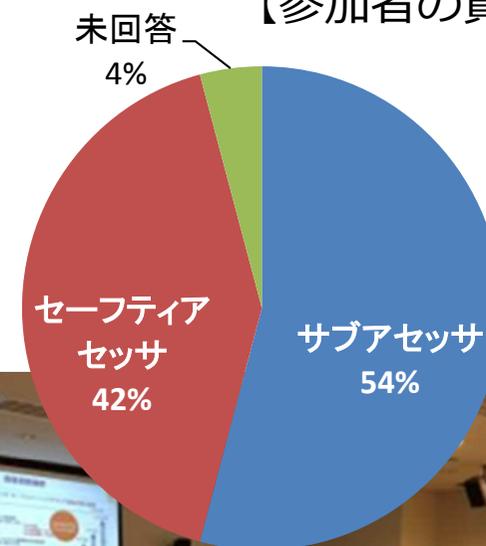
2. 参加者結果



【参加者の内訳】

- ・参加申込者：31名
- ・参加者：26名
- ・懇親会参加：11名
(内WGメンバ 2名+事務局)

【参加者の資格別内訳】



【会場の様子】

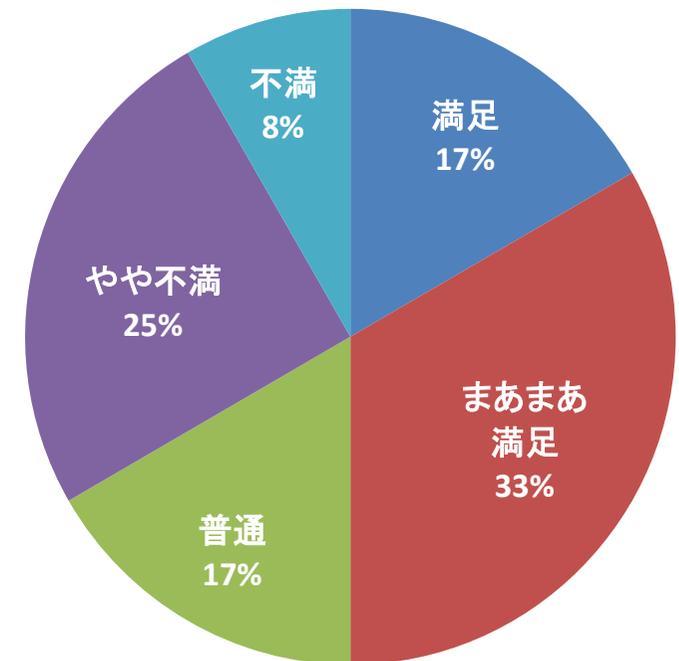


3. 結果報告 (1)



SA協議会会長から挨拶とビデオ講演

今後の安全対応の仕込みや仕組みづくりに役立つとの評価と
音声聞き取り難かった、スライドが早くて文字が読めなかった
との不満を頂きました



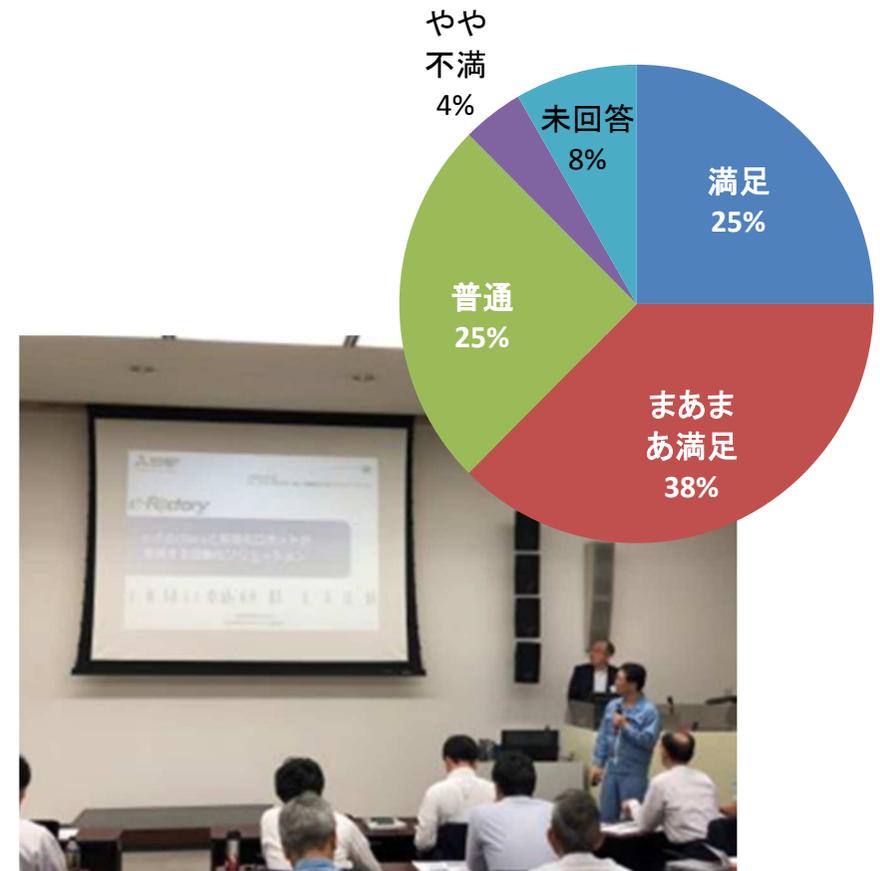
3. 結果報告 (2)



講演①：三菱電機株式会社 熊谷 好高 氏

「e-F@ctory と智能化ロボットが実現する自動化ソリューション」

三菱さんの宣伝が多すぎるのではとの指摘もありましたが、新しい技術の適用事例と展望を紹介いただいて良かったとの意見もありました



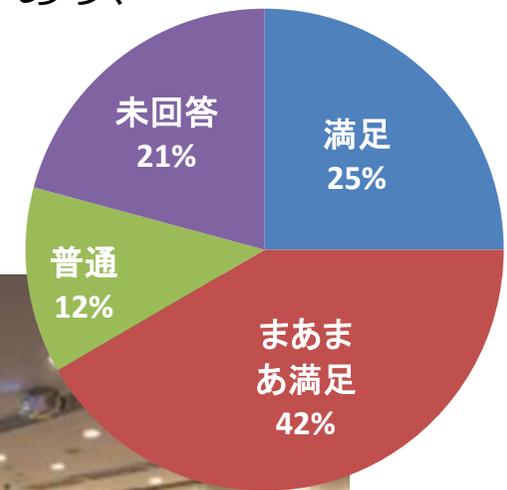
3. 結果報告 (3)



講演②：三菱電機株式会社 原口 林太郎 氏

「ロボットの安全について」

技術の進化により安全対策をどのようにし、人を育てていくかのヒントがあり、講演時に追加されたプレゼン資料も欲しいとの要望もありました
(残念ながら、NGとの回答でした)



3. 結果報告 (4)



グループディスカッション

「スマートファクトリーと機械安全を考える」

講演内容を参考に、短時間ながら、参加者の皆さんが熱の入った討議をされていました
結果発表は、8グループうち6グループが行いました

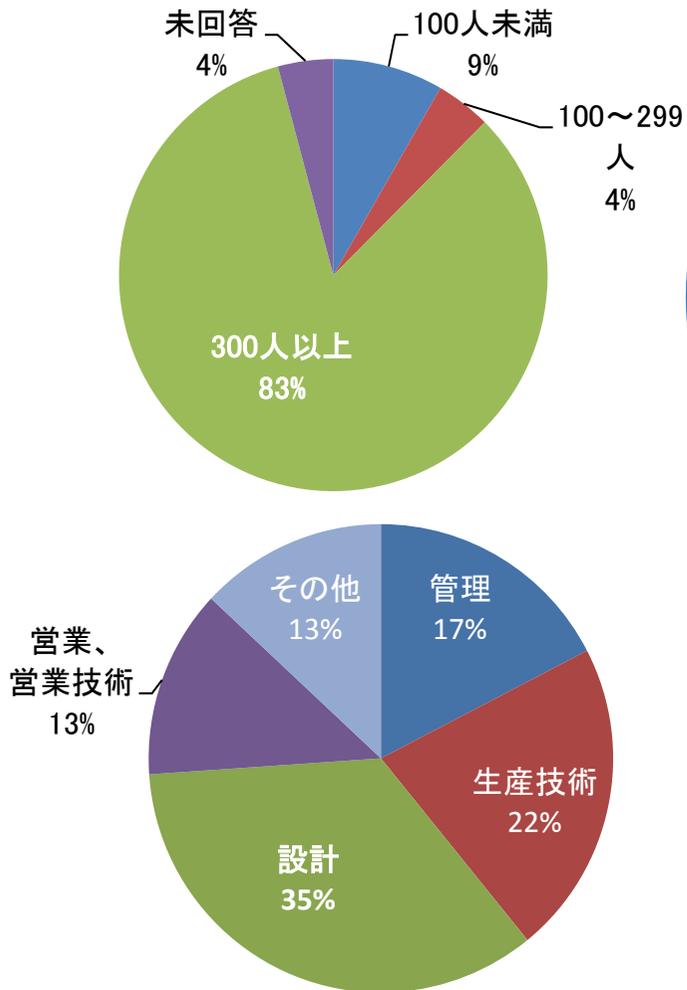


4. アンケート結果

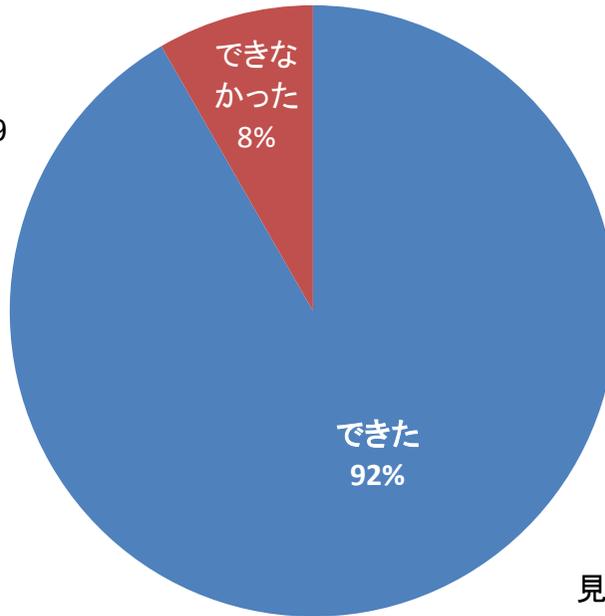


参加者24名の方からご回答頂きましたアンケート結果は以下の通りでした。

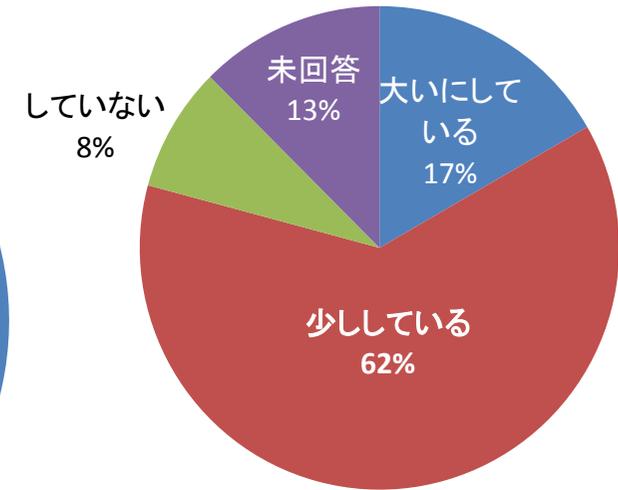
【参加者の勤務先規模と業務】



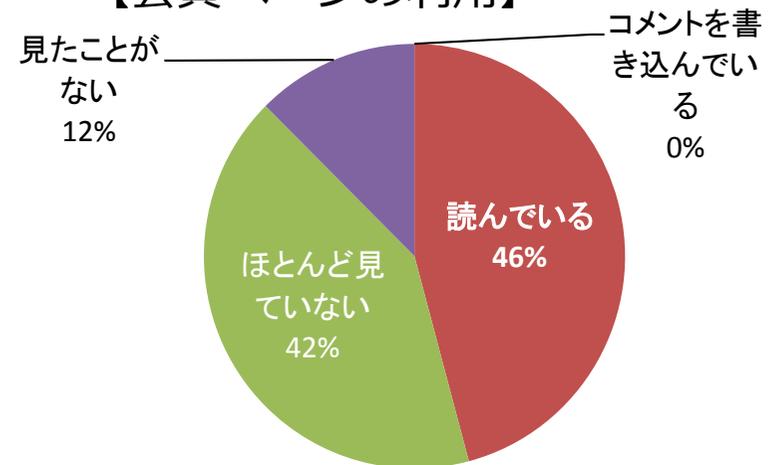
【スキルアップできたか？】



【機械安全普及促進活動】



【会員ページの利用】



比較的規模の大きい企業からの参加が大半

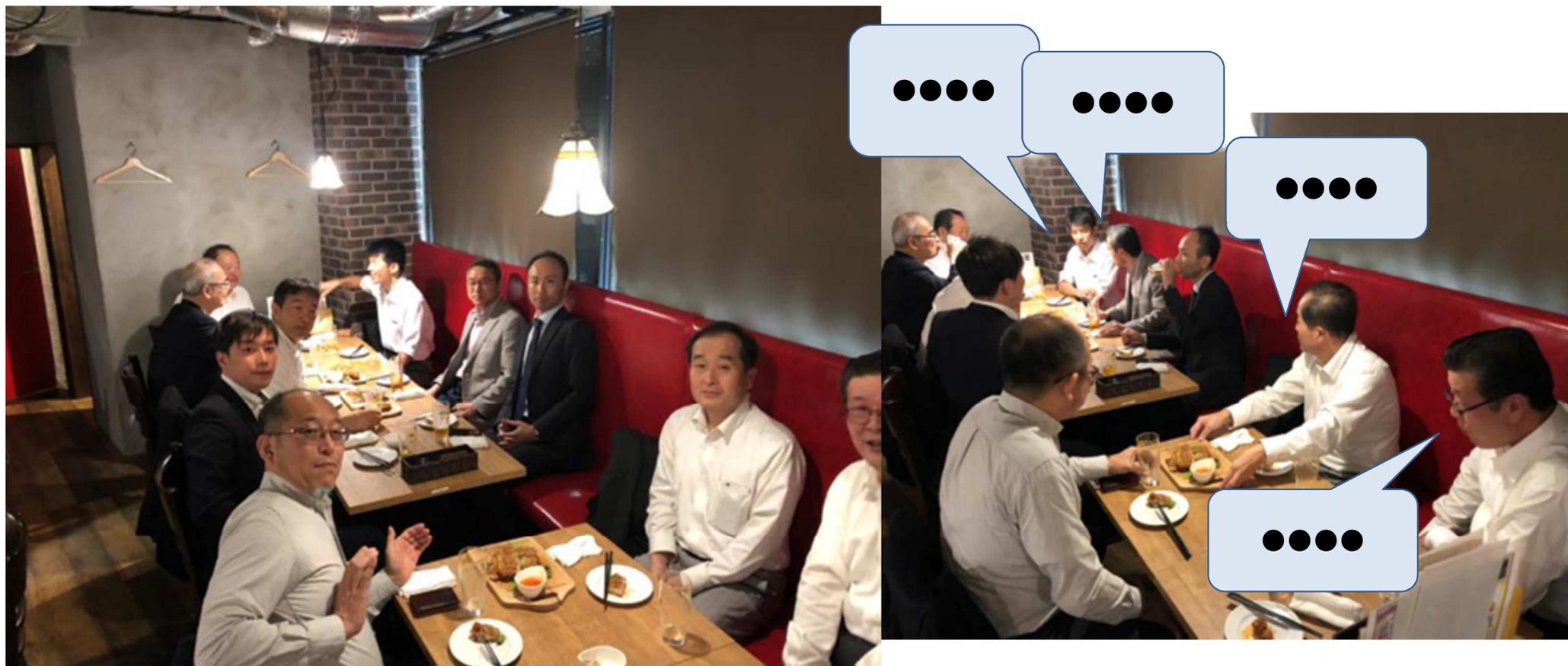
読んでいる会員が増加

5. 懇親会



参加者による懇親会

参加者の内、有志による懇親会を実施しました（参加者11名）
皆様、常日頃から抱いていた疑問点等について、会社の垣根や年齢、肩書等を超えて、屈託のない意見交換を実施して頂きました
最後は、皆さんが中部地区での機械安全の推進に向けて“一本締め” で締めさせて頂きました



6. 参加者からのご意見・ご要望（アンケートより）



(1) 講演について

参加者の60%が「満足/まあまあ満足」と回答
ビデオの音声状態が悪く、「不満/やや不満」の回答が8件
ネガティブな意見が従来より多かった

<ご意見>

- ・ 技術の進化により安全対策をどのようにし、人を育てていくかのヒントがあり、今後の安全対応の仕込みや仕組みづくりに役立つと考えます
- ・ 新しい技術の適用事例と展望を紹介いただいて良かった
- ・ ビデオの音が聞き取り難かった、音声が悪かった、半分聞き取れなかった
- ・ スライドが早く文字が読めない
- ・ 暗い部屋で明るい映像を見るのは疲れます
- ・ 宣伝部分が多かった、特定のメーカーの宣伝のようなことはやめるべき
- ・ 安全用語は正しく、資料チェックも重要
（アセッサの資料として間違った情報が流出するのはまずい）
- ・ e-F@ctryの説明は無くて良いと思った（安全と関係のない内容が多かったため）

<ご要望>

- ・ 座席の照明はつけて欲しい（ビデオ）
- ・ 説明で使用した資料は全て欲しい

6. 参加者からのご意見・ご要望（アンケートより）



(2) グループディスカッションについて

参加者の96%が「満足/まあまあ満足」と回答

<ご意見>

- ・自由に意見交換できてよかった、もう少し時間を取れると良い
- ・グループ内で活発な意見交換ができた
- ・色々と情報を得られた、メーカ、ユーザ色んな立場の人が混交していて良かった
- ・色々の方の意見を聞いた、色々な人（SI、ユーザ、メーカ）と話をすることができた
異業種の方と多岐にわたり話ができ、他会社の方と情報交換が良かった
- ・違う会社や経歴の人と話ができることが有益、
メンバーを変えて出来るだけ多くの人と交わるような運営をしてはどうか
- ・テーマは決めてもらってやった方が良いのでは
- ・工場で起こっている課題を聞いて良かった
- ・事務局が入ったのディスカッションは良かった

<今後討議したいテーマ>

- ・現場とSAとのコミュニケーション、うまく巻き込むアイデア、意識向上について
- ・安全制御回路作成
- ・しばらくはIoT、AI、協調安全をテーマに議論できれば良い
- ・協働ロボットのリスクアセスメント
- ・ロボット&ロボットシステムにおける安全機能の認識を実用性、棚レスで運用時の安全距離算出等
- ・現場見学、体験型学習（協働ロボット、AI、リスクアセスメント）
- ・ALARP領域をどう考えるか（事例を交えて議論）
- ・安全教育と安全技術者の育成
- ・安全の見える化をどうするか？ KPI（重要達成度指標）は？
そもそも安全にKPIを求めることが変な気がします・・・でもKPIがないと軽視されがち

6. 参加者からのご意見・ご要望（アンケートより）



(3) 会員専用ページの利用について

参加者の46%が「読んでいる」と回答、利用者が増加傾向か？

<ご意見>

- ・情報がネットで入手でき、時間を気にせずチェックできるので助かっています
- ・内外の情報も入手できるので今後も利用していきたい

(4) 全体について

参加者の92%が「スキルアップできた」と回答

<ご意見>

- ・ありがとうございました
- ・初めて参加でしたが良かったです
- ・良い機会となりました、ありがとうございます
- ・1日しっかりスキルアップミーティングできたのは良かったと思う
- ・情報提供ありがとうございます、機会が合いましたらまた参加させていただきます
- ・自分の安全知識を見直すとても良い機会となっており、今後も継続して行って頂きたい
- ・資料が充実しており、とても有り難く良かったです
- ・協働ロボットについて勉強できた、ロボット安全について知識を得られた
- ・スキルというより各社の取り組み内容や悩みなど情報を得たという印象

<ご要望>

- ・安全のJISが守られていない機械が多すぎ、この問題を厚生労働省、マスコミへアピールし、安全の必要性を国民に伝えることをお願いします
- ・安全回路設計アセッサも作っては

7. まとめ



- ・今回も大変有意義なミーティングであった。
しかしながら、アンケート結果が示す通り、講演についてネガティブな意見が多かった。
→講演ビデオ録画時には、機材動作状態を入念に確認する。
講演内容は、安全に関することを大前提とし、宣伝はできるだけ避ける。
- ・参加者数は、前回の38名に対し26名と減少であったが、懇親会は前回の9名に対し11名と増加した。（内5名が県外からの参加）
- ・今回は初参加の方が多かったにも関わらず参加者が減少しており、リピータを増やす魅力あるプログラムの開発もWGの課題である。
そのためにも、早めに企画検討をスタートする必要がある。
→毎年10月最終週の金曜日開催と決めて予めHPで周知する。
中部地区の産業を考慮し、ロボットに関する講演を継続して行う。
- ・グループディスカッションは、異業種情報交換の場としての評価が高いなかで、もう少し時間が欲しかったとの意見も多数あったので、討議時間を含め運営方法等の工夫をして行きたい。
- ・機械安全の普及を行ううえで、SA資格者として機械安全に関する用語について誤解のない様に定義、用法を理解して発言し、資料も作成するに努める。
- ・会員専用ページの利用者は、IGSAPからのメール発信も増えたためか、やや増加傾向にありそう。
- ・今回のSUMのアンケートで出た要望について、会員専用ページで意見交換のできる場を設けることを検討する。
- ・今回もWGに新メンバが加わったが、東京や大阪に比べてまだまだ力不足なのでWGメンバ拡充も引き続き課題。